

# 富山湾のアマモ場を調べる

## 研究分野

漁場の環境を守る

## ねらい

- ・アマモの仲間は「海草（かいそう）」と呼ばれ、ワカメやコンブなどの「海藻（かいそう）」と異なり、陸上の植物と同じように花を咲かせて種を作ります。このような、アマモの仲間が多く見られる場所は、アマモ場と呼ばれています。
- ・アマモ場は、ワカメやコンブなどから構成される藻場と同様に、様々な生物への生息場所の提供や海水をきれいにするなどの働きがあります。
- ・このように、海で生活する生物にとっても、私たち人間にとっても重要なアマモ場ですが、富山湾ではアマモ場がどれくらい分布するのか、また、どのようなアマモの種類が生息しているのかほとんど判っていませんでした。そこで、富山湾におけるアマモ場の分布（面積）と、生息するアマモの種類を調べました。

## 成果

- ・富山湾における藻場全体の面積は 1,102 ヘクタールで、そのうちアマモ場の面積は 420 ヘクタールと、藻場全体の面積の約 38% を占めることが判りました。
- ・アマモの仲間としては、アマモ、コアマモ、スゲアマモ及びウミヒルモの計 4 種類が生息しているのを確認しました。

## 活用

- ・アマモ場の面積を把握することにより、アマモ場が増えているか減っているかが判ります。さらに、生息するアマモ類の種類を把握することにより、アマモ場が減少した時、それを造成する際に役立てることが出来ます。



【アマモ場（富山県氷見地先の水深約 8 m で撮影）】

研究実施期間 平成 13 年度、平成 16 年度～平成 17 年度

問い合わせ先 富山県水産試験場 (076-475-0036)